

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒それぞれの豊かな個性の伸長と人間性を尊重し、志を高く、時代を切り拓く人材を育む学校

～ 「茨西 PRIDE」のもと、茨西につながるすべての人が「TEAM 茨西」として、生徒それぞれの「志をカタチに」する ～

- 【生徒に育みたい力】 ◇ 確かな学力を基礎に、高い志を持ち、グローバル社会を切り拓く力
◇ 生徒が自身に誇りを持ち、社会人として自律できる力
◇ 母校愛を醸成し、地域そして世界の人とつながる力を育む。
- 【教職員に求める力】 ◇ 同僚性を高め、生徒と向き合う力を高める。



2 中期的目標

1. “確かな学力”の育成

- (1) 生徒の学習支援の強化
ア 授業規律の徹底
イ 学習支援体制の構築と外部教育産業の有効利用
ウ 自学自習のハード&ソフトの整備
- (2) グローバル社会への対応
ア EFHS の取り組みを引き継ぐ、英語教育の一層の推進
- (3) 授業の改善
ア 授業評価の PDCA サイクルによる授業改善と教員相互が切磋琢磨できる環境づくり
イ アクティブ・ラーニング (AL) 及び ICT を活用した授業の推進
- ※ 学校教育自己診断 (保護者向け)、授業のわかりやすさに係る肯定回答率、平成 31 年度 60%以上をめざす。(平成 28 年度: 49%)
※ 学校教育自己診断 (生徒向け)、情報機器を活用した授業、80%以上の維持。

2. 高い志を持ち“社会を切り拓く力”の育成 ▷「志をカタチに」

- (1) 生徒の将来を見据えたキャリアサポート
ア 全方位の進路マップを策定し可視化による、早期の生徒・保護者の進路意識の向上
イ 高大連携やフィールドワーク等によるキャリア意識の醸成
- ※ 第3学年4月調査の進路希望調査の実現率、平成 31 年度 80%以上をめざす。(平成 28 年度: 71%)
※ 平成 31 年度、4年制大学への進学率 60%以上をめざす。(平成 28 年度: 43%)

3. 生徒が自身に誇りを持って、将来社会人としての“自律する力”を育む ▷「茨西 PRIDE」の涵養

- (1) 自律を促す教育活動の展開
ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上
- (2) 安全安心な学校づくり
ア 人権教育委員会及び生活指導部を中心とした豊かな人権感覚の醸成
イ 教育相談委員会を中心とした相談体制の整備
ウ 交通安全教育や防災教育等を通じた危機管理能力の向上と共助に係わる意識の涵養
- ※ 生徒・保護者向け学校教育自己診断「豊かな心・人権感覚の醸成」に係わる質問の肯定回答率 70%以上をめざす。(平成 28 年度: 62%)

4. 学校・家庭・地域・世界と“つながる力”の育成 ▷「TEAM 茨西」の形成

- (1) 各種 HR 活動・生徒会活動・部活動や国際交流行事を通して様々なつながる力を養う。
ア HR 活動・生徒会活動及び部活動の活性化
イ 国際交流事業の推進
- (2) 中高及び小高連携の推進と地域連携の強化
ア 中高連絡会・地域交流協議会等により連携を強化し、地域のボランティア活動を通じ地域貢献を推進する。
イ 卒業生・保護者・地域の教育に係る人材を発掘し協力体制を構築する。
- (3) 家庭との連携及び PTA 活動の活性化
ア 家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行う。
イ PTA 活動の一層の活性化
- ※ 行事に係わる学校教育自己診断の肯定回答率、平成 31 年度全て 80%以上をめざす。(平成 28 年度: 68%)
※ 部活動への1年次当初の加入率、平成 31 年度 80%以上をめざす。(平成 28 年度: 70%)
※ 保護者への連絡及び意思疎通の項目の肯定回答率、95%以上を維持する。(平成 28 年度: 94.6%)

5. 教職員が生徒と“向き合う力”の強化

- (1) 教職員がチームで生徒と向き合う
ア 教職員の力を伸ばすための組織的・計画的なプランの策定及び実施
イ 職員研修の充実
- ※ 教職員向け学校教育自己診断において全ての項目で肯定回答率 90%以上をめざす。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力	(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の徹底 イ・学習支援体制の構築 ・外部教育産業の有効利用 ウ・自学自習の環境整備 (2) グローバル社会への対応 ア・英語教育の推進 (3) 授業改善 ア・PDCA サイクルによる改善 ・教職員が切磋琢磨できる環境づくり イ・アクティブラーニング(AL)の推進 ・ICT 活用推進	(1) ア・ベル着、机上整理等、聞かせる態勢づくりの徹底とほめる授業の実施 イ・実力テストの結果より、チームとして取り組む、e-ラーニングを活用したポトムアップ ・外部教育産業を利用した講習の充実。 ウ・自習室及び質問コーナーの整備 (2) ア・英検受験へのチャレンジを推奨 (3) ア・授業アンケートの振り返りによる改善 ・バディシステムによる活発な授業見学 ・授業マスターによる交流の活性化 イ・AL 研修及び教授法の紹介 ・ICT 研修及び利用法の紹介	(1) ア・授業規律に関する新しい質問を設け達成率 80%以上 イ・実力テスト D3、D2 レベルの生徒数の減少 ・進学講習への参加者数の増加 (H28: 74 名) (2) ア・英検受験者数の増加 (H28: 174 名) (3) ア・教員の振り返りシート提出と授業改善に係わる面談の実施 ・バディシステム利用数 120 回以上を維持 ・授業マスター(前後期)の指名と有効活用 イ・AL に係わる研修及びニュースの配信と AL に係わる新しい質問を設け達成率 70%以上 ・ICT に係わる研修及び利用率 80%以上を維持 (H28: 80%)	
社会性の拓く力	(1) キャリアサポート ア・全方位の進路マップの策定及び進路実現 ・進路に係わる早期の意識づけ イ・キャリア意識の醸成	(1) ア・全方位の進路マップの策定及びガイダンスに強化による ・マップ及びスケジュール等の早期配布 イ・高大連携の強化及び見直し ・フィールドワーク等を通しての進路意識の強化	(1) ア・全方位の進路マップの完成 ・マップ及びスケジュール等を保護者と早期に共有し、学校教育自己診断「進学情報の提供」及び「進路を考える機会」の項目の肯定回答率 70%以上 (H28: 共に 65%) イ・高大連携に係わる生徒の感想 ・フィールドワーク等に係わる生徒の感想	
自律する力	(1) 自律を促す教育活動 ア・基本的な生活習慣の確立 ・規範意識の向上 (2) 安全安心な学校 ア・人権感覚の醸成 イ・教育相談体制の整備 ウ・交通安全指導の徹底 ・防災教育の強化	(1) ア・遅刻防止指導の徹底 ・挨拶の徹底 ・清掃の徹底 (2) ア・茨西人権スタンダードの策定 イ・教育相談体制の整備 ウ・新一年生早期の交通安全指導 ・保護者、地域と連携した通学安全指導の継続 ・防災訓練を通じた共助意識の涵養	(1) ア・遅刻者数 10%ダウン (H28: 4029) ・部活動の部員がフラッグシップとなるための部活総会やリーダー研修の実施 ・校内美化の取り組みの実施 (2) ア・人権スタンダードの完成と実施 イ・生徒の相談に係わる肯定回答率 10%アップ (H28: 30%) ウ・4月に外部講師を招いた交通安全講話を実施 ・教科保健において交通安全教育を早期に実施 ・通学安全指導の年6回実施と下校指導の実施 ・防災訓練の実施	
つながる力	(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・HR 活動の活性化 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の活性化 イ・国際交流事業の推進 (2) 小中及び地域との連携強化 ア・中高連携の強化 ・地域連携の強化 イ・同窓会活動始動への支援 ・外部の教育に係わる人材発掘 (3) 保護者との連携強化 ア・きめ細かい家庭との意思相通 イ・PTA 活動のより一層の活性化	(1) ア・計画的なロングホームルームの策定 ・生徒主体の生徒会活動 ・部活動参加生徒数の増加 イ・台湾修学旅行の成功 ・オーストラリア短期留学の受入れ成功 ・海外高校生訪日の受け入れ (2) ア・連携3校との連携協議会の開催と連携強化 ・地域交流協議会の開催と地域行事への参加 イ・同窓会活動始動による同窓会人材バンクの設立及び現役支援のスタート (3) ア・メール配信・封書連絡及び担任・顧問との連絡を密に取る。 イ・PTA 活動のより一層の活性化	(1) ア・年間ロングホームルーム計画の完成 ・行事における満足度 73%以上 (H28: 68%) ・一年の部活動加入率 75%以上 (H28: 70%) イ・台湾修学旅行の満足度 80%以上 ・オーストラリア短期留学受入れに係る肯定回答率 70%以上 ・海外高校生の受入れに係る生徒の感想 (2) ア・連携3校との連絡会及び出前授業、研修会等の交流の実施 ・穂積及び春日丘小学校区の行事へのボランティア参加に係る生徒の感想 イ・同窓会人材バンクの募集スタート ・現役生徒への同窓会による支援スタート (3) ア・保護者への情報伝達に係わる肯定回答率 95%以上を維持 (H28: 95%) イ・PTA 実行委員会での肯定的な意見	
生徒と向き合う力	(1) チームで生徒と向き合う ア・組織的、計画的なプランの策定と実施 イ・職員研修の充実	(1) ア・ステイタスシートによる適材適所の人事配置 ・QC サークルの活動の活性化 イ・タイムリーで計画性のある研修実施	(1) ア・ステイタスシートの配布と随時面談の実施 ・QC サークルの集まり年間 10 回以上 イ・計画的な職員研修の実施	